

アメリカネナシカズラ

基本情報	
和名	アメリカネナシカズラ
分類群	維管束植物 双子葉・合弁花類 ヒルガオ科
学名	<i>Cuscuta campestris</i>
英名等	Field dodder
自然分布	北アメリカ
形態	一年草の寄生植物。茎は太さ1mm程度、淡黄～淡黄赤色。寄主に左巻きにまきつき、小突起状の寄生根(吸盤)がある。花は茎の所々にかたまり、直径3mm、がくは先が5裂し先は丸い、花弁も5裂し白色で列片は三角形、花筒内部に5個の鱗片、雄ずい5個、雌ずい1個で花柱2個、柱頭部は球形。果実は2～3mm、花柱も雄ずいも果時まで残存。種子は2mm。
生息環境	畑地、樹園地、牧草地、路傍、荒地、河川敷、海浜、栽培植物上温度選好性:温帯～熱帯
繁殖生態	両性花。果(50年以上、動物の胃中でも生存)は、風、雨、動物(体内含む)により伝播。繁殖期:8,9,10月
生態的特性	やや乾いた土地に多い。
侵入情報	
国内移入分布	ほぼ全国
侵入経路	非意図的移入(輸入穀物、緑化用の種子への混入)
侵入年代	1970年頃東京府中市多摩川で確認
影響	砂丘などに生育する在来種、畑作物(ジャガイモ、ナス)、園芸植物への寄生。影響を受ける生物:在来植物、農作物、園芸植物など
法的扱い	生態系被害防止外来種 その他の総合対策外来種
防除方法	抜き取り、刈り取り
海外移入分布	ヨーロッパ、アジア、ロシア、オーストラリアに分布

国立研究開発法人 国立環境研究所資料から

